



北区の部屋だより

2022年8月 第156号



刊行物登録番号 3-2-170

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和4年8月発行



山梨県と静岡県に跨る日本最高峰の富士山。3,776mという標高のため遠く離れた場所からも眺めることができ、江戸の人々にとっても日常風景の一部になっていました。

「半分は江戸のものなり不尽（富士）の雪」安永年間（1772～81）に作成されたと考えられる『俳諧名所方角集』のうち「眺望の富士」として収載されている句で、富士山が江戸の風景の一部であったことを紹介する際によく引用されます。永井荷風も『日和下駄』で葛飾北斎の代表作「富嶽三十六景」のうち江戸市中からの景観が十数景に及んでいることを挙げ、江戸っ子は「富士の眺望を東都の誇となした」と記しています。

北区域からでも同様に、飛鳥山を題材にした錦絵に桜が描かれるのは当然として、そのほかにも飛鳥山碑や富士山、筑波山といった画像要素が定式化していたといえます。そして歌川広重によって飛鳥山碑と富士山を大きく描く構図が生み出され、以後踏襲されるようになり、さらには桜と富士だけで飛鳥山をあらわすようになったそうです（伊藤紀之「浮世絵に描かれた北区」『名所物語浮世絵にみる北区の江戸時代』北区飛鳥山博物館、2013年）。

実際に富士山が見えるか否かは別として、「富士見」の名称は現在でも区内の様々な場所で確認できます。例えば北区立十条富士見中学校。十条中学校と富士見中学校が統合して2008年（平成20）に誕生した学校ですが、前身の富士見中学校は1952年（昭和27）に

創立しました。十条銀座商店街に連なる十条富士見銀座商店街も「富士見」を冠していません。十条仲原3丁目で環状七号線がJR埼京線を越える跨線橋は富士見橋といいます。このように見ると十条地域に集中しているように思えますがそんなことはありません。赤羽地域には「眺望がよかったところからその名が生まれた」とされる富士見坂があります（赤羽西6-15、『北区の坂道』）。また、富士見橋という橋名は、田端6丁目でJR山手線に架かる跨線橋でも用いられており、富士見橋エコー広場館といった近隣施設の名称にもなっています。「富士見」の名称は、区内各所で確認できるのです。

先にも紹介した『日和下駄』で荷風は「東京の東京らしきは富士を望み得る所にある」と記しています。現在は高層建築物も増え、東京で富士山を見ることも難しくなっていますが、休みの日に富士山を探しながら散歩するのも楽しいかも知れません。

【地域資料専門員 保垣孝幸】



歌川広重
「富士三十六景東都飛鳥山」
（国立国会図書館所蔵）

北区の部屋 今月の展示

訓練・疎開・引揚・開墾

—戦争と北区の子どもたち—

■展示期間：7月29日(金)～8月24日(水)

■展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

第二次世界大戦の終結から数えて77年目の夏。戦争の記憶が社会から薄れていく中、戦中戦後の子どもたちの写真を展示します。戦中の防空訓練や学童疎開、戦後の引揚や開墾。当時の子どもたちは、現在の日本からは想像もできないような、苦難の時代をくぐり抜けてきました。区民の皆様や、学校から提供された写真に、その姿が残されています。ぜひ、ご覧ください。



【写真】海洋少年団の分列行進
王子国民学校
昭和16年倉持慶一氏提供

平和への祈りをこめて

平和祈念週間始まります！



8/2～8/6は北区平和祈念週間です

北区では、昭和61年に平和都市宣言を制定しました。今年も、「平和祈念週間」に平和の願いをこめて、「平和展」を開催します。図書館からも、二つのパネル展示を出展します。また、各図書館では「平和図書コーナー」を開設しました。これらを通じ、皆様が平和について考えるきっかけになればと願っております。

●●●● 平和図書コーナー ●●●●

○期間…7月29日(金)～8月31日(水)

※休館日を除く

○一般向けコーナーのある図書館

▶ 中央・滝野川・赤羽図書館

○子ども向けコーナーのある図書館

▶ 区内図書館全館の子ども図書のコーナー



中央図書館 子ども向け平和図書コーナー

●●●● 平和展 ●●●●

○期間…8月2日(火)～6日(土)

10時～18時(最終日は16時)

○場所…北とぴあ地下1階展示ホール

○展示テーマ

① 「北区の部屋」所蔵資料に見る、戦中戦後の区民生活

…制作：黒川徳男 地域資料専門員

② ドナルド・キーン生誕百年「ドナルド・キーンと平和」

…制作：北区図書館活動区民の会

*「ドナルド・キーンと平和」のパネル展示は、「平和展」終了後、引き続き中央図書館にて8月7日(日)～31日(水)まで展示します。

今月の一冊 「東京人」2022年8月号

月刊誌『東京人』は、江戸東京の歴史と、東京の魅力を発信する総合誌です。

8月号の、「Close up TOKYO」のコーナーに、黒川徳男地域資料専門員が「北区の部屋」について受けたインタビュー記事が、掲載されました(133頁)。

インタビューでは、「北区の部屋」には図書資料に加えて、古い地図や、写真、文書などを所蔵していることや、地域資料専門員が、区民のみなさんの日常を発掘・収集して後世に残す仕事を担っていることなどを紹介しています。みなさんも、ご自宅にある古い資料は捨てないで、まずは「北区の部屋」へご連絡ください！



都市出版/編集
書誌番号 3-0003296790

北区の部屋だより

2022年9月 第157号

刊行物登録番号 3-2-170

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台1-2-5 TEL.03-5993-1125 令和4年9月発行

北 区
こぼれ話
第157回

操車場の上に 東洋一の「軍艦橋」を架けよ — 田端ふれあい橋について —



JR田端駅前には、自動車用の新田端大橋と、歩行者用の田端ふれあい橋という二つの橋が、架けられています。これらは、広大な田端操車場の上を渡るための橋です。その一つ、田端ふれあい橋は、かつて田端大橋と呼ばれ、自動車も歩行者もこの橋を渡っていました。昭和10年(1935)12月27日に竣工した橋です。田端大橋には「軍艦橋」という異名がありました。いったい、なぜでしょうか。

この橋は、当時の一般的な橋に比べて、軽くする必要がありました。下に操車場があるからです。戦前の貨物輸送の主力は鉄道でした。田端操車場は、貨物列車を行き先別に編成し直すという重要な施設でした。

橋脚を多く造れば、その分、線路の数を減らすこととなります。このため、操車場としては、橋脚の数は少なければ少ないほど好都合だったのです。橋を架けるにあたって、軽量化の工夫が必要でした。それが、部材を溶接で接合するという方法です。竣工当時、田端大橋は、東洋一の溶接橋と呼ばれていました。

一般的な橋は、部材をリベットで接合します。リベットとは釘とも和訳されます。釘やネジのような形の頭がある、円柱状の部品で、接合する部材の

穴にリベットを通したあと、頭とは反対側を工具でつぶし、頭と同様の形にして固定するというものです。しかし、このリベットを使用すると、その分だけ橋が重くなるという欠点があります。リベットではなく、溶接で橋を造れば、軽い橋が造れるのです。

当時、このような溶接技術を持っていたのが、造船会社でした。特に、軍艦は、軽く頑丈である必要がありました。田端大橋にはそれが応用された

のです。田端大橋の施工業者は、川崎造船所艦船工場。設計は鉄道大臣官房研究所(現、鉄道総合技術研究所)です。川崎造船所は、戦艦榛名・伊勢・加賀やイ号潜水艦、様々な航空母艦などを製造した軍需企業そのものでした。



【写真】田端大橋(現、田端ふれあい橋)昭和37年(1962)
倉田正義氏撮影 ※橋脚の少なさをご確認ください。

同時に、各地の鉄道橋や河川に架けられた橋を製造するという橋梁メーカーでもありました。田端大橋は、軍艦の溶接技術で造られた橋なので、軍艦橋と呼ばれたのです。軍需技術が、民需向けに波及するという見本のようなようです。そういう意味では、田端ふれあい橋も、戦争遺跡の一つと言えるでしょう。1987年(昭和62)新田端大橋が架けられると、田端大橋は田端ふれあい橋と名を改められ現在に至っています。

【地域資料専門員 黒川徳男】



★北区の部屋・今月の展示：狩野川台風

◆期間：8月26日(金)～9月21日(水)

◆場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

1958年(昭和33)9月に発生した台風22号は、伊豆半島や関東地方を中心に甚大な被害をもたらしました。

今回の展示では、狩野川台風と呼ばれるこの台風による被害の状況やその後に進められた石神井川の河川改修など、北区への影響について紹介します。



★公開歴史講座、終了しました！：飛鳥山渋沢邸と明治日本外交



◆日時：8月7日(日) ◆場所：中央図書館3階ホール

◆講師：黒川徳男 地域資料専門員(近現代史研究家)



今回の講座は、北区の偉大な実業家・渋沢栄一翁の“国民外交”についてでした。飛鳥山・渋沢邸を舞台に、いったいどのような外交が行われたのか、昨年、放映された大河ドラマ「青天を衝け」では触れられていなかった裏事情なども含め、当時の時代背景も交えながら掘り下げていきました。

渋沢翁は、外国の要人たちを飛鳥山に招いてもてなしました。最初の賓客は米国のグラント将軍(元大統領)です。しかし、ただもてなして終わりというだけではありません。史実では、グラント将軍の訪日目的の一つに、沖縄の領有権をめぐる日清間の対立への介入がありました。清国はその打開策として米国に仲裁を求めたのです。渋沢翁はそんなグラント将軍に、眼下に広がる王子の最新式製紙工場を見せつけ、日本の発展ぶりを示しました。彼が主張した「国民外交」とは、国際親善だけではなく戦略的な側面もあったということです。

黒川講師は様々な事例を挙げ、渋沢翁の外交は、大河ドラマのように和気あいあいとしていただけではなかったと話していました。受講者の方々は講師の解説に大変熱心に耳を傾けておられました。アンケートの感想でも「時間が足りない」、「もっと話が聞きたかった」などの意見をいただきました。



講師・黒川徳男
地域資料専門員

★平和展示：「北区の部屋」所蔵資料に見る、戦中戦後の区民生活

◆期間：8月26日(金)～9月21日(水)

◆場所：中央図書館1階エントランス

北区では、毎年「平和祈念週間」の5日間(今年は8月2日(火)～6日(土))に、平和を願う様々な催しを実施しています。図書館も、北とびあで開催された「平和展」へパネル展示で参加しました。

そのうちの一つ、『「北区の部屋」所蔵資料に見る、戦中戦後の区民生活』は、当時の貴重な記録写真などを12枚のパネルにしたもので、「北区の部屋」の黒川徳男地域資料専門員が手掛けました。お陰さまで大変ご好評いただきましたが、展示期間が短く、もう一度見たいとのご要望もありましたので、中央図書館にて再度展示することにいたしました。ぜひ中央図書館まで足をお運びください。



令和4年度「平和展」での展示模様



北区の部屋だより

2022年10月 第158号



刊行物登録番号 3-2-170

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 令和4年10月発行

北区
こぼれ話
第158回

飛鳥山ってどこまで?!



かつて東京で最も低い「山」として地図に記載して欲しいと国土地理院へ申請されたこともある飛鳥山。標高は山頂の基準点によって25.4mであることが確認できますが、ではその範囲、いったいどこまでが飛鳥山なのでしょう。

最初に飛鳥山の範囲が示されたのは江戸時代のことです。多くの川柳にも詠まれ、難解な文章として知られた飛鳥山碑の裏面には「飛鳥山四至榜示」として飛鳥山の範囲が刻まれており、そこには「良(北東)より坤(南西)に至り73歩」「巽(南東)より乾(北西)に至り202歩」とあります(現代文として提示)。距離としての1歩は1間と同じなので1間=1.82m(※1)で換算すると北東から南西にかけて132.86m、北西から南東にかけて367.64mということになります。

当然、現在の飛鳥山はかなり形状が変化していることが想定されますが、それでも参考までに示せば、いろいろな遊具が設置され、

都電や蒸気機関車が展示されているあたりの飛鳥山の幅が132m程度、あすかレールパーク(アスカルゴ)が走る明治通り沿いの崖線から測れば北区飛鳥山博物館のあたりで367m程になります。先の榜示範囲を面積にすると4町9反1畝16歩、48,747㎡になるので、現在の飛鳥山公園73,900㎡(※2)と比較すれば、公園範囲はかつて飛鳥山と呼ばれていた範囲の1.5倍ほどに広がっていることが知られます。

以上、飛鳥山の範囲についていろいろ書きましたが、実は最も単純でわかり易い目安が1つ。それは住居表示が王子か西ヶ原かです。そもそも飛鳥山は滝野川村に属していましたが、八代将軍徳川吉宗が桜を植樹するとともにこれを王子権現へ寄進することで王子村の一部となりました。詳細は北区こぼれ話第6回「飛鳥山って『王子』?!『滝野川』?!」に譲りますが、飛鳥山は王子村なのです。したがって、かつての王子村と西ヶ原村の境界である王子1-1と西ヶ原2-16の境までが飛鳥山の範囲ということになります。

まあ、ここまで厳密に飛鳥山の範囲がどこまでなのかを気にする人もいないと思いますが、渋沢栄一が構えていた邸宅も地形上は飛鳥山の上にあたるのかも知れませんが、実際には飛鳥山ではなく西ヶ原村ということになるのです。

【地域資料専門員 保垣孝幸】



【写真】飛鳥山碑

文化財保護の観点から現在は石碑が覆われ裏が確認できにくくなっていますが、裏面には飛鳥山の範囲が刻まれています。

- ※1 1間=1.818mを小数点以下第3位で四捨五入。
- ※2 『北区行政資料集』令和2年版(北区政策経営部企画課、2020年)

北区の部屋 今月の展示

アカンサスのレリーフの下で —中央公園文化センターのデザイン—

■展示期間：9月23日(金)～10月26日(水)

■展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

北区立中央公園文化センターの建物は、昭和5年(1930)陸軍造兵廠りくぐんぞうへいしょう火工廠かこうしょうの本部事務所として建設されました。その正面エントランスの左右に、植物などをかたどったレリーフがあります。この植物は、アカンサスと呼ばれるもので、日本陸軍を含め建築の装飾としてしばしば用いられてきました。今回の展示にあたっては、中央公園文化センターのデザインについて考察し、そのユニークさについて紹介いたします。



【写真】
中央公園文化センターの
アカンサスのレリーフ

▶▶『「北区」が登場する本のリスト』更新しました！

★北区立図書館では、“北区”に関する記述のある本の目録『「北区」が登場する本のリスト』を作成し、毎年10月に情報を追加しています。

今年も区内全図書館に更新したリストを置きましたので、ご覧ください。

★リストにある本には背表紙に【さくらマーク 】が貼ってあります。

お手に取ってどんな“北区”が描かれているか、ぜひチェックしてみてください。

※リストは図書館ホームページでもご覧いただけます。

【北区が登場する本】の情報は随時募集中です。

“北区”の記述がある本を発見しましたら、各図書館に置かれている『北区が載っている本を教えてください』用紙に詳細を記入し、図書館のスタッフへお渡しください。皆さまからの情報を、お待ちしております！！

用紙は、
各図書館の
カウンターや
記載台に設置
してあります。



今年も開催します！

“東京文化財ウィーク 2022”

■東京都教育委員会では、毎年11月3日(文化の日)を中心に、都内全域の文化財の公開やさまざまなイベントを実施する『東京文化財ウィーク』を開催しています。

詳しくは東京都生涯学習情報ホームページの東京文化財ウィーク情報・文化財情報データベースをご確認ください。(ガイドブックの配布はありません)

■『東京文化財ウィーク 2022』開催期間

◆特別公開事業

10月29日(土)～11月6日(日)

◆通年公開・企画事業

10月1日(土)～11月30日(水)

■問合せ先: 東京都庁

◆地域教育支援部管理課文化財保護担当

電話: 03-5320-6862

<https://www.syougai.metro.tokyo.lg.jp/sesaku/week.html>



北区の部屋だより

2022年11月 第159号



刊行物登録番号 3-2-170

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL.03-5993-1125 令和4年11月発行

北区 こぼれ話 第159回

区民が記録した大隈重信の国民葬 —王子町青年団の弔意と参列—

おおくましげのぶ



安倍晋三元首相の国葬にあたっては、吉田茂や山県有朋の国葬のほか、大隈重信の国民葬など過去の事例が話題となりました。「大隈の国民葬にあたっては、多くの人々が列をなしたが、山県の国葬では、そのようなことはなかった」などのエピソードがメディア上で語られました。

では、北区民(この場合は王子町民)は、大隈重信の死去や国民葬について、どのように記録していたのでしょうか。「北区こぼれ話」で、しばしば引用してきた『中十条 高木助一郎日記』の記述を今回も確認してみましょう。すべて、大正11年(1922)の記述です。

一月十日 晴れ 火曜日 (中略)

世界的の偉人従一位大勲位侯爵大隈重信閣下には昨年未病気の処、遂に今朝六時十五分薨去せられたりと、国家の為痛惜の情に堪えず 謹で哀悼の意を表す

午後六時より役場に於て青年団幹部新年会開会(中略)席上柳沢評議員の発議により大隈侯薨去に就き本団より弔辞を呈する

事に決す。来る十二日永久、榎本喜、青木三君、本団を代表して侯邸に至る事となす。尚、葬儀の際は本団に於ても可成多数会葬する事となす。

たよりなや 巨星落ちたる 冬の空

高木助一郎は、王子町青年団の主要なメンバーでした。大隈の死去と青年団幹部の新年会が同じ日であり、その席上で早稲田の大隈邸へ弔辞を届けることが決定されたのです。

さらに、国民葬についての記述としては、

一月十七日 曇 火曜日 (中略)

世界的の偉人大隈侯の葬儀ハ本日午後一時より日比谷公園に於て国民葬を以て盛大に挙行せらる[感]慨無量と云ふべし、本団長も会葬せらる。団員は各自会葬せり。

※ [] 内は引用者が補った

とあります。このように、王子町青年団員は、国民葬にも参列しました。本稿の読者の中には、青年団が政治家の自宅に弔辞を直接届けることや、国民葬に参加したことについて不可解に思う方もいらっしゃるでしょう。大隈重信は、早稲田大学の創立者としても、立憲改進黨などを率いた政治家としても有名です。その一方で、全国の青年たちを指導すべく、中央青年会などの会長を務めました。また、高等教育の機会に恵まれない農村青年に対しては、青年団を通しての通信教育による機会均等を促すなど、青年団運動を支援していたのです。このため、大隈重信の国民葬の列に並んだ人々の中には、青年団の関係者が少なくなかったものと考えられます。

【地域資料専門員 黒川徳男】



「高木助一郎日記」大正11年(1922)1月10日



新東京十六景 滝野川の溪流 (記念碑)

★北区の部屋・今月の展示★
しんとうきょうはちめいしょう
実況！新東京八名勝



- ◆期間◆ 10月28日(金)～11月23日(水祝)
- ◆場所◆ 「北区の部屋」 企画展示コーナー

昭和7年(1932)、大東京の成立を記念して、報知新聞社が投票で「新東京八名勝」を決めるイベントを開催しました。組織票が有効であったことから各地域では熾烈な投票合戦が繰り広げられます。今回の展示では、「新東京八名勝」と北区の名所について紹介します。

★地域資料部・特別展示★
じゅうじょう こ せんきょう
**歴史遺産十条跨線橋
その127年間を紐解く**

- ◆期間◆ 10月28日(金)～12月13日(火)
- ◆場所◆ 中央図書館2階エントランス



JR 東十条駅南口に架かる十条跨線橋

JR 京浜東北線・東十条駅の南口に架かる十条跨線橋は、明治28年(1895)に架設された東北線旧荒川橋梁の一部を昭和7年(1932)の下十条駅(現東十条駅)開設に併せ、移設されたものです。それから永きに亘り、北区内外の交通の動脈を担い、また地域の産業振興や住民の安全な往来、電車乗降の利便等に貢献してきた十条跨線橋について紹介します。

★図書館刊行物のご案内★
図書館以外でも販売しています！



「北区の歴史 はじめの一步」や「北区こぼれ話」などの図書館刊行物は、北区役所や書店など、図書館以外でもご購入いただくことができます。ぜひ、ご利用ください。



- ◆図書館刊行物・販売リスト◆
- ◆北区の歴史 はじめの一步 (4地区編) …………… 各310円
- ◆北区の歴史 はじめの一步 改訂版 (3地区編) …… 各400円
- ◆北区こぼれ話 (1・2) …………… 各200円
- ◆TOKYO 北区のKITAみち (日本語・英語版) …… 各500円

- ◆図書館刊行物・取扱店◆
- ◆北区立中央図書館、滝野川図書館、赤羽図書館の3館
- ◆北区役所区政資料室(本庁舎1階)、北区飛鳥山博物館
- ◆区内書店(下記6店舗・令和4年11月1日現在)



1	◆ブックス王子本店 !!NEW!! 北区王子1-13-15 (☎03-3913-2363)	4	◆ブックスページワン・トヨホト-赤羽店 北区赤羽西1-7-1-6F (☎03-5993-7330)
2	◆ピーブックス 北区豊島5-4-1-111 (☎03-3914-1157)	5	◆文書堂 北区赤羽北2-11-18 (☎03-3900-5950)
3	◆東武ブックス・ピーンズ赤羽店 北区赤羽1-1-1 (☎03-5939-6621)	6	◆フタバ書店 北区西ヶ原1-55-12 (☎03-6681-0288)

※10月より、王子駅最寄り・北本通り沿いにある書店「ブックス王子本店」が新しく取扱店となりました。



君の名は?!

～「寛政重修諸家譜」の話～



突然ですが、名前の読み方って難しいですね。近年、学校の職場体験授業で中央図書館にくる中学生のなかには何と読めばいいのかわからない名前の生徒さんも増えていますが、そもそも日本人の名前は昔から同じ漢字を使いつつも「恵美（えみ）さん」、「恵美（めぐみ）さん」のように漢字だけでは正確な読み方がわからない場合も少なくありません。困ったときはどうするか。本人に確認してしまうのが一番手っ取り早いのですが、歴史上の人物の場合だとそうはいきません。

例えば、滝野川村に所領を有していた旗本野間家。その四代目に「政成」という人物がいます。初めて野間家が幕府から飛鳥山を拝領した1625年（寛永2）当時の当主ですが、この人物は政成（まさしげ）なのでしょうか、それとも政成（まさなり）なのでしょうか。正解は政成（まさなり）。何故と聞かれても「だって政成（まさなり）なんだもん」としかお答えできないのですが、実は諸大名や旗本など徳川将軍の直臣（直屬の家臣）については、家の系譜や事績についてまとめた『寛政重修諸家譜』（以下『寛政譜』と略します）という史料で調べることができるのです。

『寛政譜』は、『寛永諸家系図伝』（1643年〈寛永20〉成立）といったそれ以前に作成されていた史料に加え、1799年（寛政11）段階で新たに大名や旗本から提出させた系譜書をまとめた幕府編纂の系譜集です。本文だけで1,500冊以上におよび、そこには各家の人物

について生誕、婚姻、相続、死去に至る経過や、領知や賞罰など様々な事績が詳細に記載されています。

『寛政重修諸家譜』
江戸時代に編纂された
（国立公文書館所蔵）

最大の系譜史料で、歴史研究者が幕臣について調べようとした際、真っ先に確認しなければならない基本文献であり最重要文献でもあります。そしてこの『寛政譜』には、記載されている人物の名前に全て振り仮名が記されているのです。いくつかの読み方が知られている人物でも、その家が提出した系譜書をもとに幕府が編纂した、いわば「公式」な系譜史料であることから、『寛政譜』に記載されている読み方が正しいと判断されることも少なくありません。先ほどの野間政成の場合も、『寛政譜』に政成と書いてあったので、政成と読めるかも知れませんが政成と読むのが正しいと判断できるのです。

多くの場合では特定人物を調べる際に利用され、読み物のように通覧されることはほとんどないといつていい『寛政譜』ですが、こうした資料が存在することを知っておいてもいいかなと思い、今回紹介させていただきました。以上、『寛政譜』のお話でした。

【地域資料専門員 保垣孝幸】

『寛政重修諸家譜』は活字史料集として出版されており、「北区の部屋」にも『新訂寛政重修諸家譜』（続群書類従完成会、1990年）があります。



君の名、なんて読むの？

北区の部屋 今月の展示

－写真で振り返る北区の鉄道 140 年－

- 展示期間：11月25日(金)～1月25日(水)
(12月14日(水)～1月4日(水)の休館中を除く)
- 展示場所：「北区の部屋」企画展示コーナー

令和4年(2022)は、日本の鉄道開業から150年の節目にあたるため、様々なイベントが開催されました。そして、令和5年(2023)は、明治16年(1883)に上野駅から熊谷駅まで鉄道が開通して140年になります。つまり、北区域に鉄道が通り、王子駅が開業して140年ということでもあります。北区の部屋では、これを記念し、北区における鉄道の歴史を振り返る展示をいたします。貴重な写真を掲げますので、鉄道が好きな方も、そうではない方も、ぜひご覧ください。



昭和43年田端操車場の蒸気機関車
(昇堅堂所蔵)



今年も開催します！

北区図書館活動区民の会 企画・運営 小学生向けワークショップ

「親子で探検！中央図書館ナイトツアー」 開催のお知らせ

誰もいなくなった夜の図書館を大冒険。普段は何気なく利用しているこの場所は、実は…。親子で探検！歴史の核心に迫る！

- 【対象】区内在住の小学生とその保護者
(6年生優先、未就学児不可、保護者同伴必須)
- 【日程】令和5年1月8日(日)午後4時45分～7時
- 【場所】中央図書館(1階エントランス、フリースペース内集合)
- 【定員】12組(抽選/小学生1名・保護者1名の2人1組)
- 【申込先】〒114-0033 北区十条台1-2-5 北区立中央図書館 図書係
TEL: 03-5993-1125 / FAX: 03-5993-1044

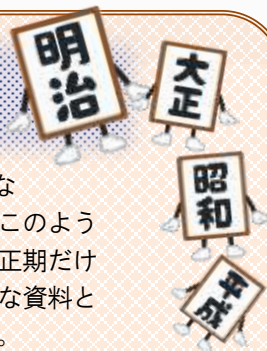
※往復はがきの往信用裏面にイベント名、郵便番号、住所、参加者全員の氏名(ふりがな)、年齢、学年、電話番号、返信用表面に住所、氏名を記入の上、12月13日(火)必着。

※FAXでの申込み可(自宅にFAXのある方のみ)。申込書は区内全図書館に置いてあります。ホームページからダウンロードもできます。



中央図書館「北区の部屋」では、 北区の歴史に関わる資料を探しています！！

みなさんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治・大正期だけでなく、昭和・平成期の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、お心あたりのある方はぜひご一報ください。



〈休館のお知らせ〉

令和4年12月14日(水)から令和5年1月4日(水)まで、北区立図書館はシステム入替のため全館休館します。



【お詫びと訂正】2022年11月号(第159号)で紹介した図書館刊行物取扱店の中で、「東武ブックス・ビーンズ赤羽店」は、廃業しました。お詫びして訂正いたします。